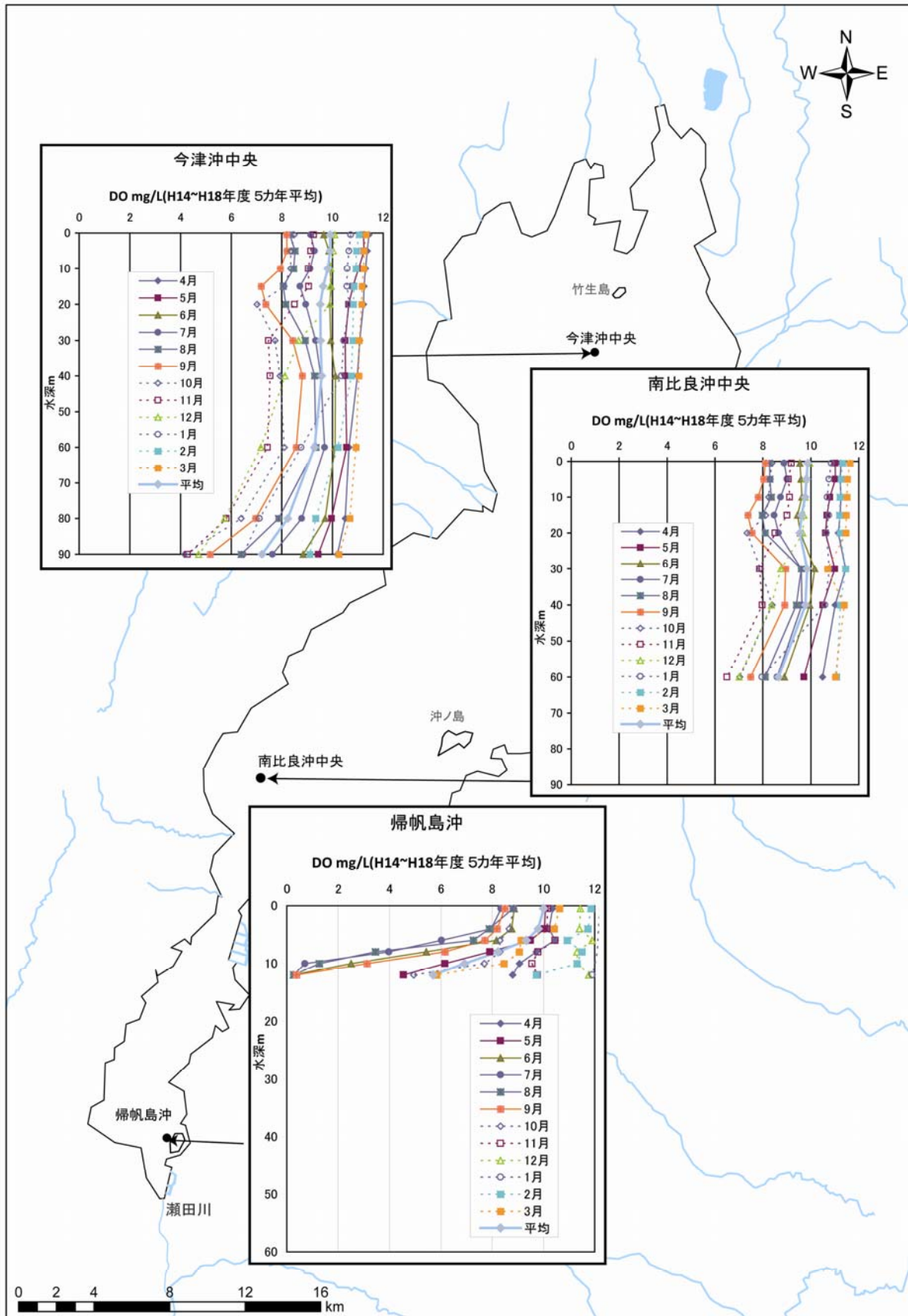


出典：公共用水域データ（2004～2006年度）

図11.20 表層におけるDO（最低値）平均値の分布



出典：滋賀県DOデータ（平成14年度～18年度）

図11.21 DOの鉛直分布

表11.8 琵琶湖における主要魚介類の選定結果

分類	主な魚介類	生活型	漁獲量上位種	保護水面対象種	産卵場・成育場が特定の「場」に依存する種。	選定結果	選定理由
サケ科	ビワマス		○				
コイ科	コイ	○	○		○	●	産卵場・成育場が水生植物帯に依存。
	ニゴロブナ	○	○	○	○	●	保護水面対象種。産卵場・成育場が水生植物帯に依存。
	ゲンゴロウブナ	○	○		○	●	産卵場・成育場が水生植物帯に依存。
	ウグイ		○				
	オイカワ						
	ホンモロコ	○	○	○	○	●	保護水面対象種。産卵は水生植物に依存。
	ワタカ	○			○		
	スゴモロコ	○	○		○	●	産卵は砂礫・礫石帯に依存。
	ハス		○				
	ニゴイ						
	カマツカ						
	ゼゼラ	○					
	モツゴ	○					
	ビワヒガイ	○				△	
	シロヒレタビラ	○				△	
	ヤリタナゴ	○				△	
	カネヒラ	○				△	
ナマズ科	ナマズ	○					
	ギギ*	○			○		
ハゼ科	ヨシノボリ類(ゴリ**)	○	○		○	●	産卵は砂・礫・岩・岩礁帯に依存。
	イサザ	○	○		○	●	産卵は礫底上の石下面に依存(岩・岩礁帯)。
キュウリウオ科	アユ		○	○			
	ワカサギ		○				
テナガエビ科	スジエビ	○	○				
	テナガエビ	○					
イシガイ科	イケチョウガイ	○					
	カラスガイ	○					
シジミ科	セタシジミ	○	○		○	●	産卵場・成育場は砂礫・砂泥帯に依存。
タニシ科	ナガタニシ	○			○		
種類数		22	14	3	15	8	

生活型：主に琵琶湖内で産卵し稚子が生育する種。

漁獲量上位種：農林水産統計年報における漁獲量5年分(2001～2005年)を集計し、種名が明らかである上位種。

保護水面対象種：水産資源保護法に基づく保護水面の対象種(滋賀県水産課より入手)。

産卵場・成育場が特定の「場」に依存する種：琵琶湖内の沈水・抽水植物等水生植物帯、砂・礫・岩礁帯を産卵場・成育場として限定している種。

*：△：イケチョウガイ・カラスガイ等二枚貝内に産卵する。当該貝類は概ね水深10m以浅の砂・泥域、沈水植物・抽水植物等の特定域内に生息する。

*：ギギは一般的に河川中流域の石下面で産卵するが、琵琶湖では湖岸の砂・礫で産卵する。

**：琵琶湖には回遊性のトウヨシノボリと止水性のビワヨシノボリの2種のヨシノボリ類が生息し、トウヨシノボリの稚魚とビワヨシノボリを区別せず「ゴリ」として漁獲されている。

表11.9 琵琶湖における主要魚介類の生態特性

主要魚介類	卵形態	水深	産卵場	主な分布状態		幼稚仔魚の分布域(底質環境)																
				卵	仔魚・稚魚期	抽水植物	沈水植物	流れ藻・浮き草	二枚貝	岩・石	砂礫	砂	泥	その他								
コイ	沈性粘着卵 産卵期:4月~7月 稚魚期:春期~夏期	表層	湖岸・入江・緩流域の抽水植物・沈水植物等	水草等に粘着(付着)	水生植物帯(0.5m以浅)	水生植物帯(0.5m以浅)																
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m																				
		4.1-5.0m																				
ニゴロブナ	粘着卵 産卵期:4月~6月 稚魚期:春期~夏期	表層	湖岸・入江・緩流域の抽水植物・沈水植物等	水生植物帯に粘着(付着)	水生植物帯(0.5m以浅)	水生植物帯(0.5m以浅)																
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m																				
		4.1-5.0m																				
ゲンゴロウブナ	粘着卵 産卵期:4月~6月 稚魚期:春期~夏期	表層	湖岸・入江・緩流域の抽水植物・沈水植物等	水草等に粘着(付着)	水生植物帯(0.5m以浅)	水生植物帯(0.5m以浅)																
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m																				
		4.1-5.0m																				
ホンモロコ	粘着卵 産卵期:3月~7月 稚魚期:春期~夏期	表層	湖岸・入江・緩流域の抽水植物・沈水植物等(水深0.3~3m)	水草等に粘着(付着)	水生植物帯(0.5m以浅)	水生植物帯(0.5m以浅)																
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m																				
		4.1-5.0m																				
スゴモロコ	付着沈性卵 産卵期:5月~6月 稚魚期:春期~夏期	表層																				
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m													砂礫底(水深2~5m)	砂礫底	砂泥底					
		4.1-5.0m																				
ヨシノボリ類	付着卵 産卵期:5月~7月 稚魚期:春期~夏期	表層			浮遊生活(表層~中層)									浮遊生活(表層~中層)								
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m													砂・礫・岩・岩礫帯(水深5m以浅)	砂・礫・岩・岩礫帯(水深5m以浅)						
		3.1-4.0m																				
		4.1-5.0m																				
イサザ	付着卵 産卵期:4月~6月 稚魚期:春期~夏期	表層	礫底上の石下面(水深9m以浅)	岩・岩礫帯	浮遊生活(表水層:水温礫層より浅い水深)									浮遊生活(表水層:水温礫層より浅い水深)								
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m																				
		4.1-5.0m																				
セタシジミ	沈性卵 産卵期:5月~7月 稚魚期:春期~夏期	表層																				
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m													砂礫・砂泥底(水深2~8m)	砂礫・砂泥底	砂礫・砂泥底					
		4.1-5.0m																				

出典: びわ湖内湾の水生植物帯における仔稚魚の生態 I 仔稚魚の生活場所について (平井賢一, 1970)
 内水面漁場環境・利用実態調査報告書 魚のすみよい川への設計指針(案)(全国内水面漁業協同組合連合会, 昭和62年)
 平成18年度滋賀の水産(滋賀県農政水産部水産課, 平成18年6月)
 淡水生物の保全生態学「琵琶湖におけるコイ科魚類の初期生態(山本・遊磨)」(森誠一著編, 1999)
 日本のコイ科魚類(日本産コイ科魚類の生活史に関する研究)(中村守純, 1969)
 山溪カラー図鑑 日本の淡水魚(改訂版)(山と溪谷社, 2001)
 滋賀県水産試験場研究報告No49「琵琶湖におけるイサザ仔魚の分布の特徴(酒井明久ら, 2002)」
 滋賀県水産試験場研究報告No1「琵琶湖産イサザの増殖に関する研究(小林・山中, 1950)」

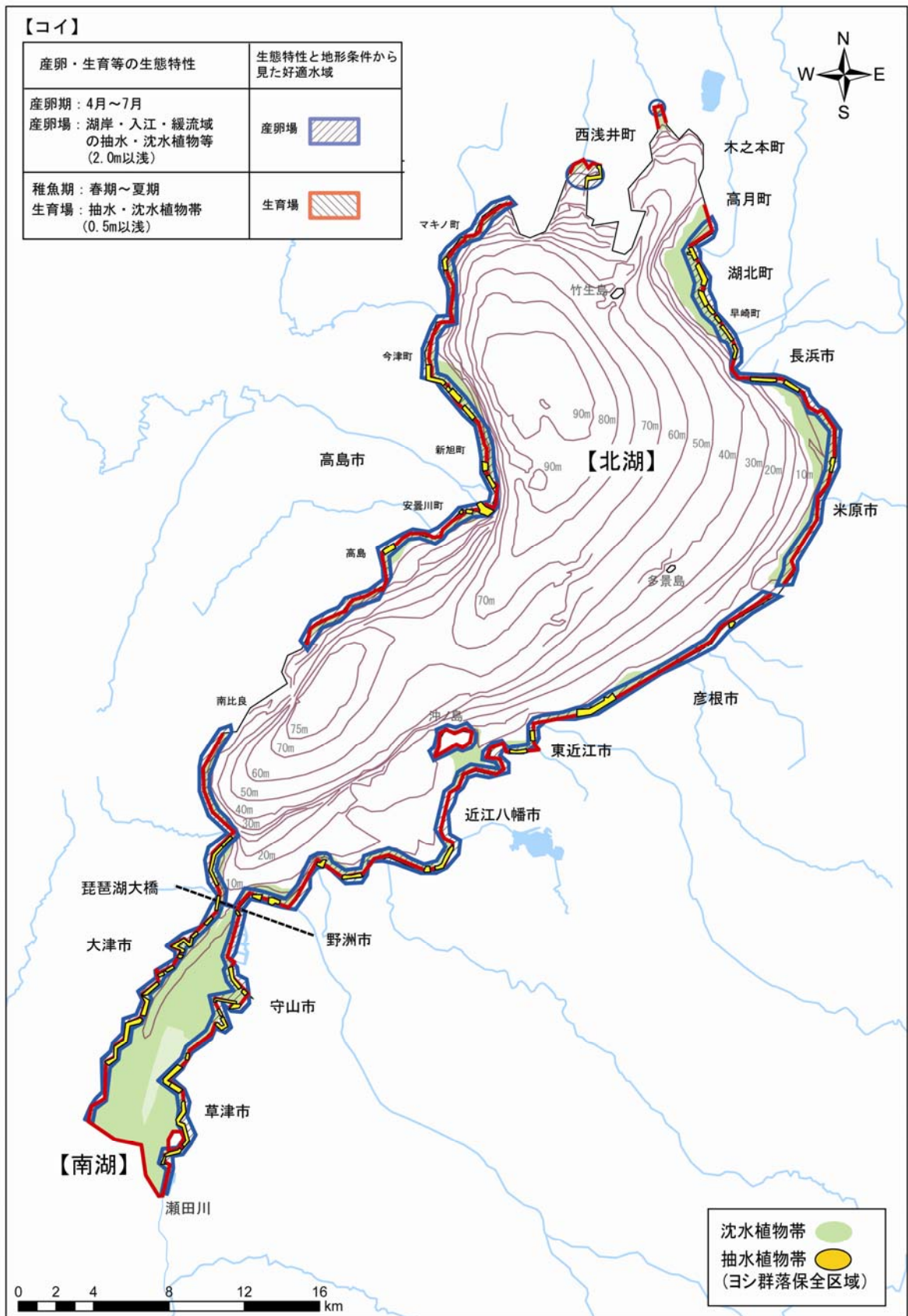


図11.22a 生態特性・地理条件・水質条件から見た好適な水域（コイ）

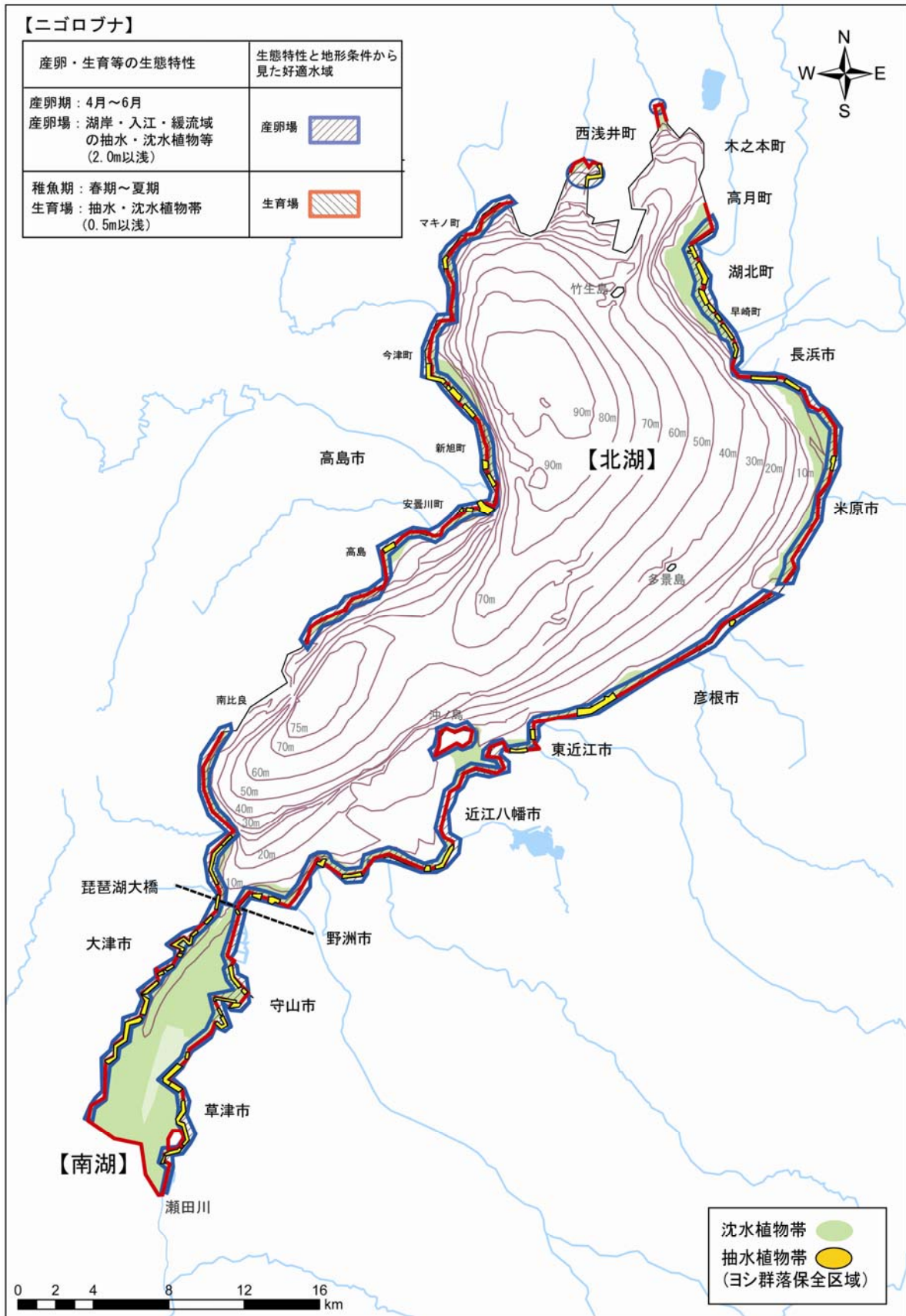


図11.22b 生態特性・地理条件・水質条件から見た好適な水域（ニゴロブナ）

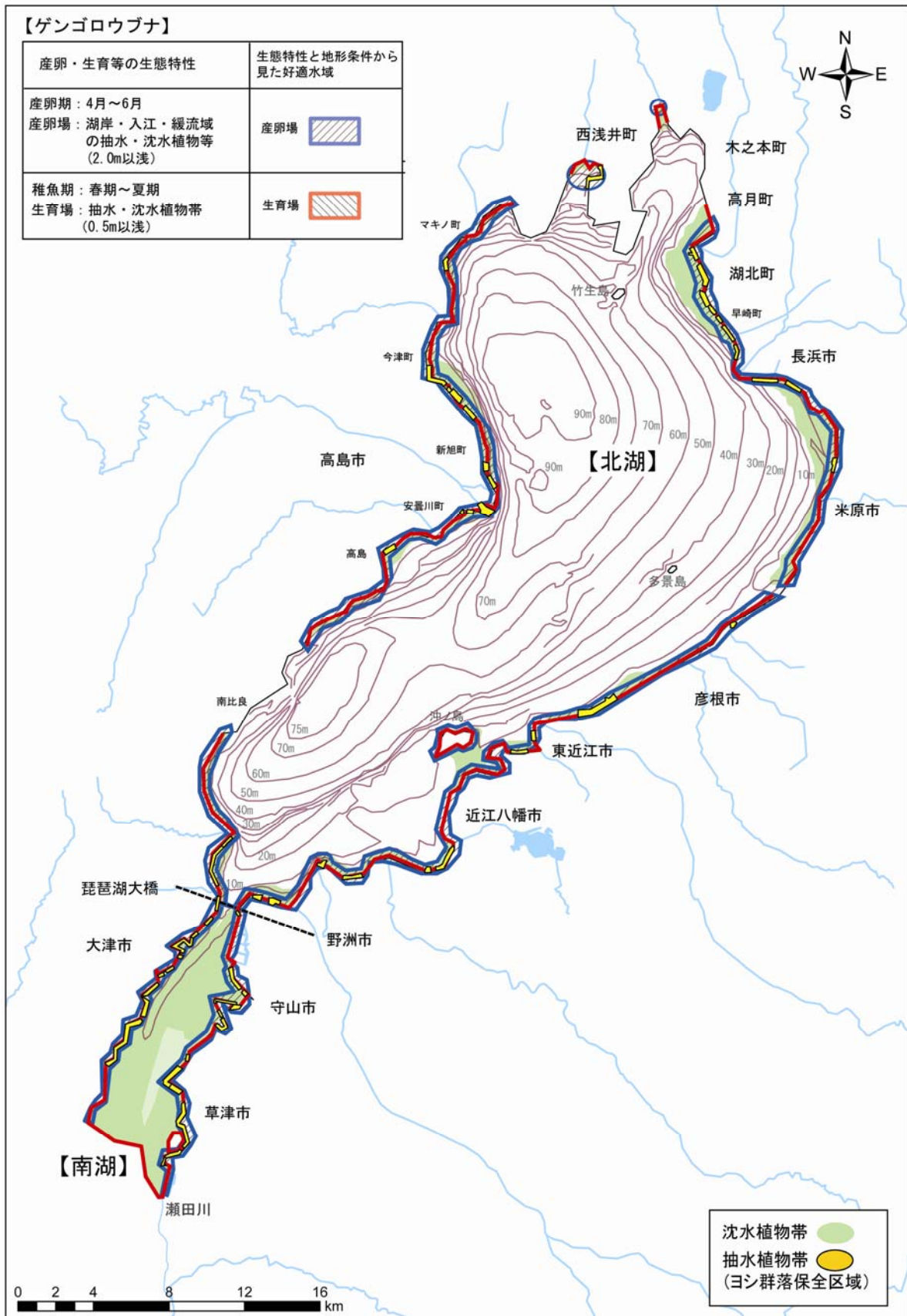


図11.22c 生態特性・地理条件・水質条件から見た好適な水域（ゲンゴロウブナ）

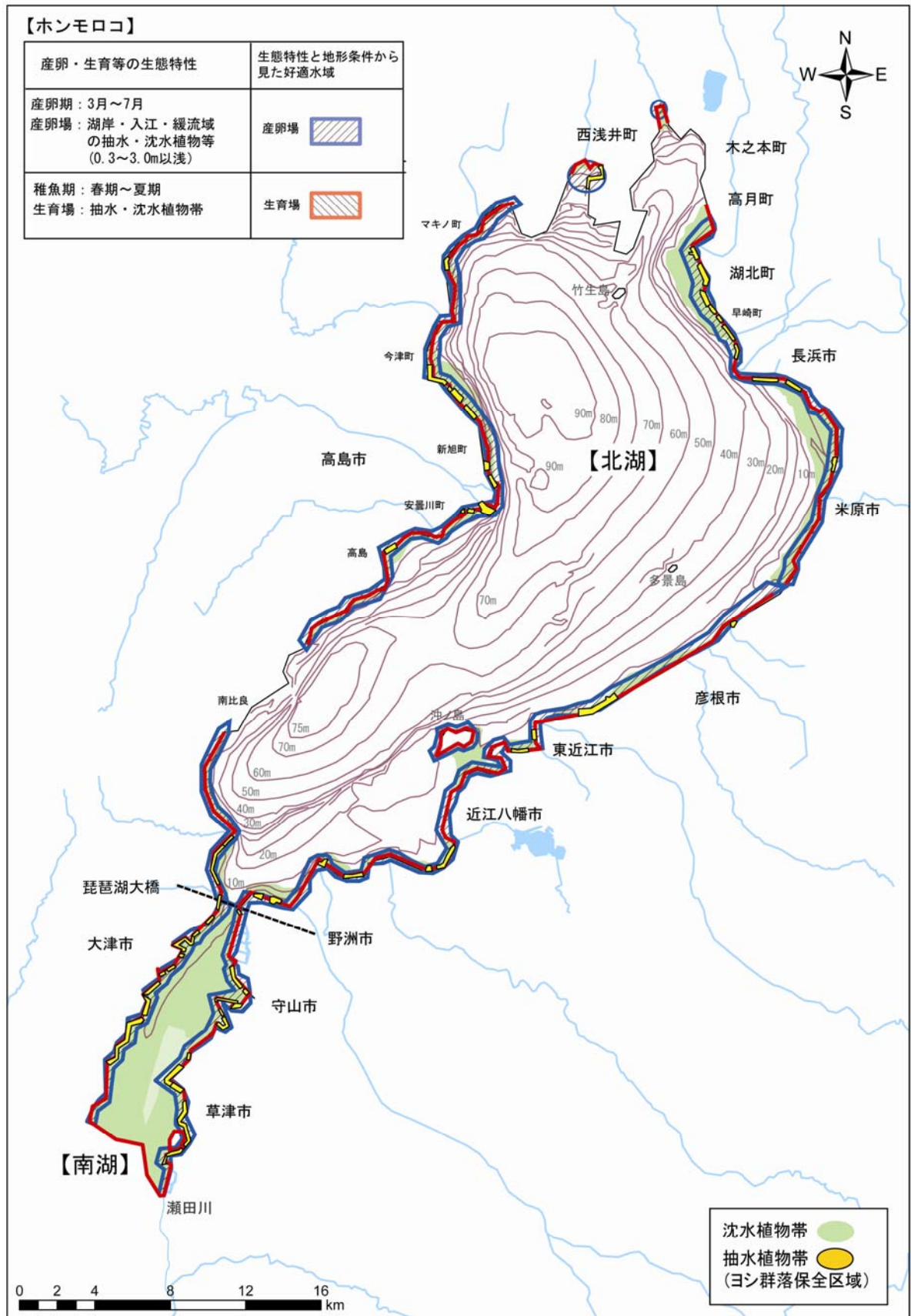


図11.22d 生態特性・地理条件・水質条件から見た好適な水域（ホンモロコ）